

2025/2/15 (土) 13:00-16:30

第10回 JCOG患者・市民セミナー 応用編

講義 1

【PPI (患者市民参画) とは?】

JCOG患者参画委員会副委員長

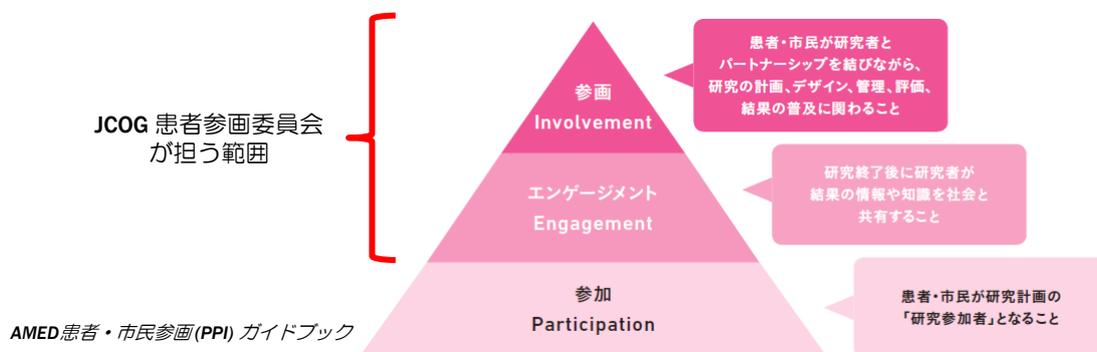
神奈川県立がんセンター 消化器内科

上野 誠

1

患者市民参画 (PPI: Patient and Public Involvement) とは?

- 医学研究・臨床試験プロセスの一環として、研究者が患者・市民の知見を参考にすること。
- 患者・市民：患者、家族、元患者(サバイバー)、未来の患者を想定。



第10回JCOG患者・市民セミナー

2

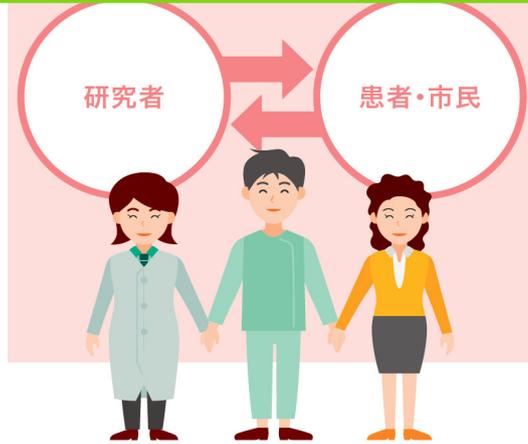
2

患者市民参画 (PPI: Patient and Public Involvement) とは？

協働：研究が、患者とともに行われること

メリット

- 研究開発を進めるうえでの新たな視点と価値を発見することができる。
- 患者の不安・疑問点を解消し、臨床研究の理解を促進することができる。



メリット

- 研究参加者にとって負担の少ない実施体制になる
- 患者・市民にとって研究が身近になり、関心を高めることができる。

国立研究開発法人日本医療研究開発機構 医学研究・臨床試験における患者・市民参画 (PPI) についてより

第10回JCOG患者・市民セミナー

3

3

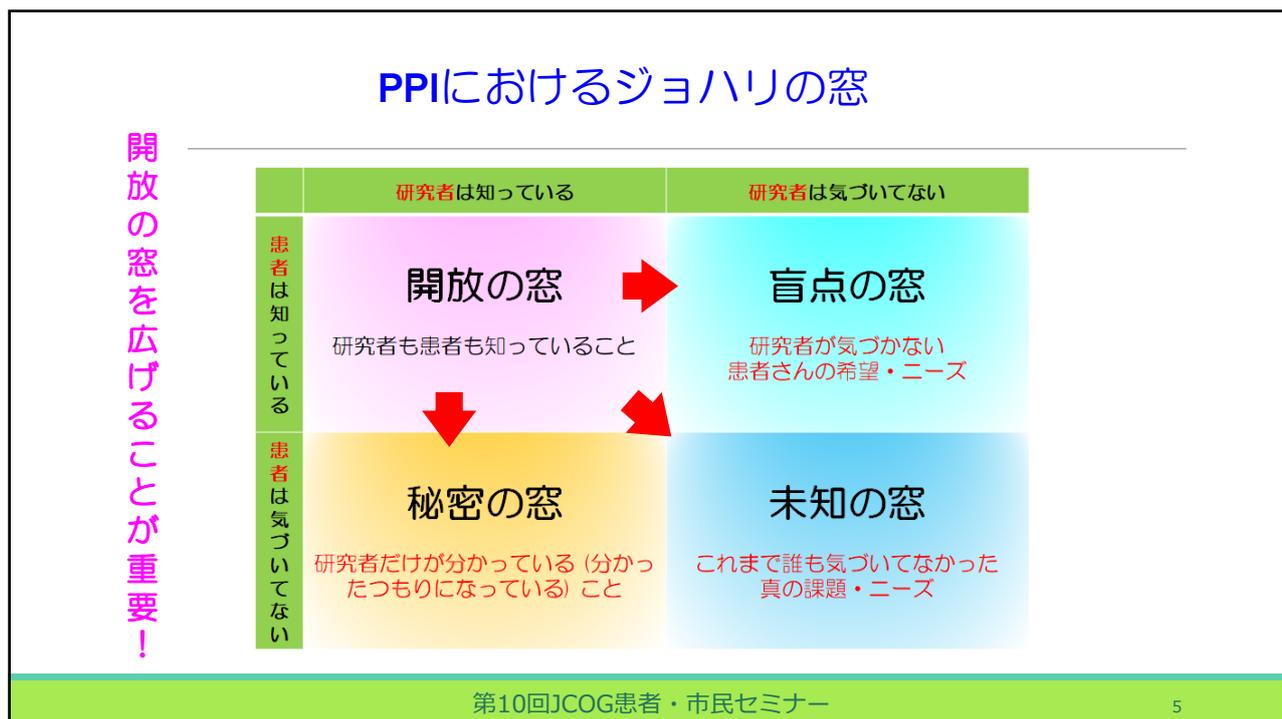
ジヨハリの窓

| | 自分は知っている | 自分は気づいてない |
|-----------|--|--|
| 他人は知っている | 開放の窓 (公開された自己) 自分も他人も知っている自己 | 盲点の窓 (見えていない自己) 自分は気づいていないが 他人は知っている自己 |
| 他人は気づいてない | 秘密の窓 (隠された自己) 自分は知っているが 他人は気づいていない自己 | 未知の窓 (誰も知らない自己) 誰からもまだ知られていない自己 |

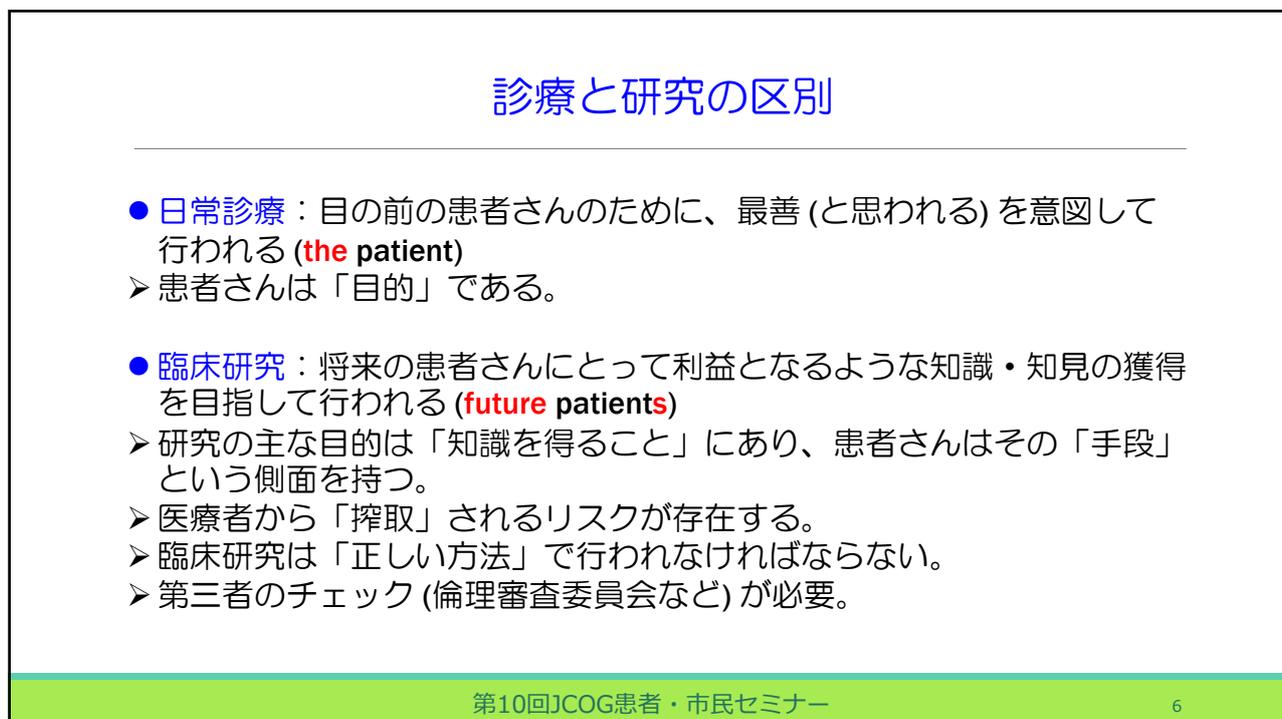
第10回JCOG患者・市民セミナー

4

4



5



6

なぜ臨床試験にPPIが必要か？

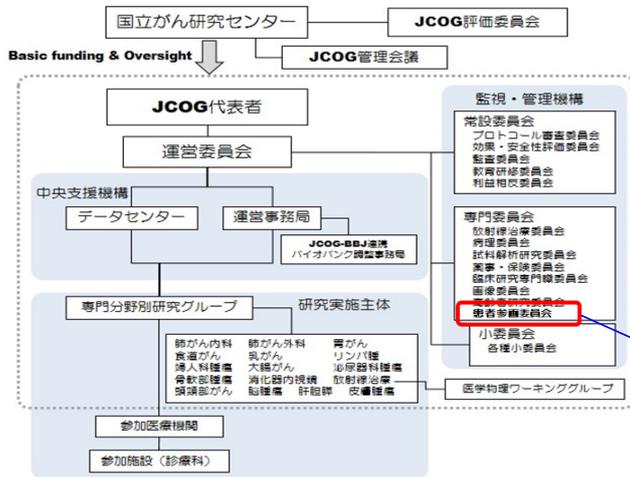
- 病気に対する新薬や新たな治療法などは、その有効性や安全性が確認されてはじめて「標準治療」として確立する。
- 今ある薬剤や治療法より有効だと期待される新薬や新たな治療法が、本当に安全か、期待された効果を発揮するのかを確認し、患者さんに「より良い」治療を提供し続けるために「臨床試験」が必要。
- **臨床試験は研究者の「自己満足」「押しつけ」であってはならず、患者さんから協力・意見・評価・理解・同意を得て成り立つもの。**
- そのため、臨床試験の立案・作成段階からの患者・市民参画が必要。
- 臨床試験の結果は、適切に分かりやすく患者・市民へ速やかかつ広く公表する努力が研究者に必要。

海外の研究資金配分機関におけるPPIの動向

| 国 | 研究資金配分機関 | PPIの動向 |
|----|--|--|
| 英国 | MRC (英国医学研究会議) Clinical Trials Unit | 研究におけるPPIは患者や市民のために行われるものではなく、 患者や市民とともに行われるもの である。臨床研究の実施に向けた申請書やプロトコル、患者向けリーフレット等に患者からのコメントを反映。 |
| 米国 | NIH (米国国立衛生研究所) | 研究プロセスにおける患者参画やコミュニティ参画の確保に向け、公衆衛生のニーズを同定し理解する上で、コミュニティ組織や患者団体と協働しなければならない。 |
| 豪州 | NHMRC (国立保健医療研究評議会) | 研究計画からガイドラインの作成に至るすべての段階に、 コンシューマー (消費者) とコミュニティの積極的な参画 が求められている。 |

臨床研究等における患者・市民参画に関する動向調査 報告書 <https://www.amed.go.jp/content/000049456.pdf>

JCOG患者参画委員会



- 2015.12
JCOG総合班会議
患者参画を主題に
- 2018.04
JCOG患者参画小委員会
発足
- 2022.03
JCOG患者参画ポリシー
承認
- 2022.04
JCOG患者参画委員会
発足

<http://www.jcog.jp/basic/profile/organization.html>

9

Lay Summary (レイサマリー)

エンゲージメント (Engagement)

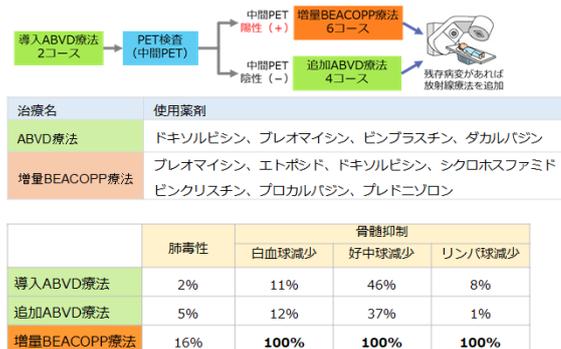
- 研究終了後に研究者が結果の情報や知識を社会と共有すること
 - 研究結果の説明を含めてPatient and Public Engagement (PPE) と定義
 - エマニュエルの研究倫理8要件「被験者の尊重」
- 2021/10/4 EUで“Good Lay Summary Practice”が公開
 - 公開するという議論から、
→ 「一般の方に対してわかりやすく」が求められるように
 - EU Clinical Trials Regulationでは研究のスポンサーに「レイサマリー」の作成を求めている (2022/1/31~)
- JCOG：研究の「主たる解析時」に研究参加者向けの結果の説明
「レイサマリー」を作成し研究者に配布



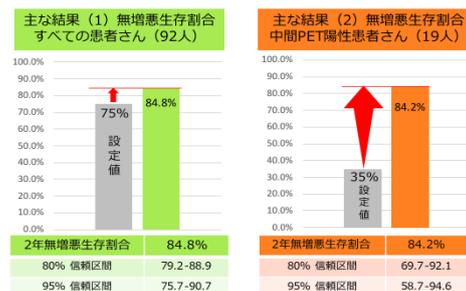
10

JCOGでのレイサマリー第1号 (JCOG1305: リンパ腫グループ)

ホジキンリンパ腫に対する治療に関する臨床試験 (JCOG1305) にご参加いただき、誠にありがとうございました。このたび、データ解析を行い、試験の主要な結果を学会で発表いたしました。JCOG1305試験にご参加いただいた皆様にご報告します。



2022年6月のデータ解析では、2015年11月20日から2020年2月1日に登録された93人の患者さんを対象として解析しました。すべての登録患者さんを対象として集計した2年無増悪生存割合が75%を上回ることで、中間PETが陽性の患者さんを対象として集計した2年無増悪生存割合が35%を上回ることを調べる設定で、105人の患者さんの登録を目標としました。

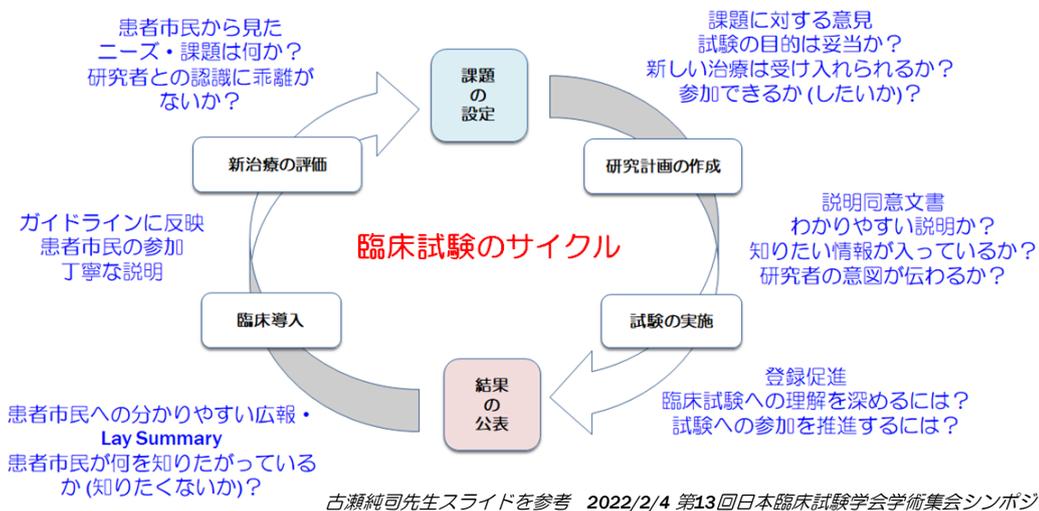


JCOG HPでのレイサマリー公開のお知らせ



| 全て | お知らせ | 一般の方向け | 研究者・医療関係者向け |
|------------|--------|--|-------------|
| | | 一般の方向け | |
| 2024.5/08 | 一般の方向け | 乳がんグループJCOG1607患者さん向け試験結果説明書を公開しました | |
| 2024.4/11 | 一般の方向け | 食道がんグループJCOG1314患者さん向け試験結果説明書を公開しました | |
| 2024.3/29 | 一般の方向け | 肺がん内科グループJCOG2007患者さん向け試験結果説明書を公開しました | |
| 2024.3/08 | 一般の方向け | 肝胆膵グループJCOG1611の患者さん向け試験結果説明書を公開しました | |
| 2024.3/08 | 一般の方向け | JCOG患者・市民セミナーページを更新しました | |
| 2024.2/15 | 一般の方向け | 消化器内視鏡グループJCOG1207の患者さん向け試験結果説明書を公開しました | |
| 2023.12/13 | 一般の方向け | 肺がん内科グループJCOG1404の患者さん向け試験結果説明書を公開しました | |
| 2023.11/14 | 一般の方向け | 婦人科腫瘍グループJCOG1101の患者さん向けの試験結果説明書を公開しました | |
| 2023.8/25 | 一般の方向け | 乳がんグループJCOG1017の患者さん向けの試験結果説明書を公開しました | |
| 2023.7/18 | 一般の方向け | JCOG患者市民セミナー (入門編) 参加者募集を開始しました (8/13まで) | |

JCOGにおけるPPIのこれから



第10回JCOG患者・市民セミナー

13

13

世間で言われるように

- 立場が変われば見方が変わる。
- 物事を自分の都合のよいように判断してしまう。
- 多数決は正しいのか？少数意見は。

第10回JCOG患者・市民セミナー

14

14

本日のタイトル

- 第10回 JCOG患者・市民セミナー
- 第10回 JCOG医療者・患者・市民セミナー
- 第10回 JCOG患者・市民・医療者セミナー

本日、有意義な時間を過ごせればと思います
